

2019年度 学校自己点検・自己評価

静岡医療センター附属静岡看護学校

看護学校(三年課程)自己点検・自己評価表			2019年度 学校自己点検・自己評価(年間評価)			
大項目	中項目	評価対象項目(質問項目)	評価			第三者評価
			できていない	一部できていない	できている	
			2019年度			
			自己点検・自己評価(年間評価)			
1 教育 理念 ・ 目的 ・ 目標	1) 学校の教育理念・目的・目標の設定	(1)教育理念・教育目的は法との整合性がある。	○			○
		(2)教育理念・目的を明文化している	○			○
	2) 教育理念・目的・目標の達成	(3)教育理念・目的は看護教育についての考え方を示している(看護学・看護基礎教育の本質)	○			○
		自養成所の教育上の特色を明示している	○			○
		(4)看護専門職(専門性・自律性・倫理性・判断力・実践力)が明示されている	○			○
		(5)教育観と学生観が明示されている	○			○
		(6)教育理念・目的は人材育成の内容と一致している	○			○
		(7)教育理念・目的・目標を学生にとって学習の指針になるように具体的に示している	○			○
		(8)養成する看護師等が卒業時点において持つべき資質を明示している	○			○
		(9)教職員は教育理念・目的・目標について認識し、共有している	○			○
3) 教育理念・目的・目標の点検・見直し	(10)教職員は、教育理念・目的・目標の達成に向けて努力している。	○			○	
	(11)教育理念・目標は学生に浸透している	○			○	
2 教育 課程	1) 教育課程の立案	(12)卒業時点に於いて期待する姿になっているかを評価している	○			○
		(13) 教育理念・目的・目標と教育課程の考え方が一貫している	○			○
	2) 教育課程の効果的編成	(14) 教育理念・目標は社会変化、ニーズに対応し年一回見直ししている	○			○
		(15)教育課程は看護学の内容・求める学修の到達及び学生の成長発達について明確な考え方と根拠を持って編成されている	○			○
		(16) 教育理念・目的・目標にあった科目設定をしている	○			○
		(17)教育課程・授業・評価に至り一貫性がある	○			○
		(18) 科目設定には学校の特色を盛り込んでいる	○			○
		(19) 科目設定には学習者・社会のニーズを考慮している	○			○
		(20) 科目の一般目標・行動目標は明確に設定している	○			○
		(21) 指定規則に合致した科目と単位・時間を設定している	○			○
3) 教育課程の点検・見直し	(22) 教育理念・目標にあった順序性で科目を配列をしている	○			○	
	(23) 科目の位置づけと科目間の関連性を明示している	○			○	
3 教育 活動 ・ 教育 指導 の あり 方	1) 学習支援(ガイダンス)	(24) 教育課程の評価・見直しは定期的(年1回)に行っている	○			○
		(25) 教育課程の見直しは学生・講師・教員の意見を反映している	○			○
	2) 授業の計画的遂行・調整	(26) 教育課程を評価する体系が整っている	○			○
		(27) 教育課程評価結果の活用において、倫理的配慮を行っている	○			○
		(28) 年度初めにカリキュラムガイダンスを行っている	○			○
		(29) 学生便覧は内容・構成が工夫して作成され、学生が活用している	○			○
		(30) シラバスが作成され活用について学生に説明している	○			○
		(31) 単位履修の方法とその制約について教師・学生の双方がわかるように明示している	○			○
		(32) 単位履修の方法は学生の単位履修を支援するものとなっている	○			○
		(33) 授業計画に基づいて授業は実施している	○			○
3) 授業科目の担当・時間	(34) 時間割の進捗は、授業計画通りに行われている	○			○	
	(35) 授業形態(講義・演習・実習)は、授業内容に応じて選択している	○			○	
4 組織 ・ 管理 運営	4) 教育方法の工夫・研究	(36) 授業内容は精選され、学生のレディネスにそって構成されている	○			○
		(37) 科目毎の授業内容を整理し、担当者へ周知している	○			○
	5) 臨地実習施設	(38) 1クラスの学生数は40人以下の構成である	○			○
		(39) 科目を担当する講師は、その分野を教授するのにふさわしい人が担当している	○			○
		(40) 教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間数を配分している	○			○
		(41) 教員一人当たりの週授業時間は15時間以内である	○			○
		(42) 教員の実習担当時間数は3時間に1時間程度の準備時間が見込まれて	○			○
		(43) 教員が自ら成長出来るよう、自己研鑽のシステムを整えている	○			○
		(44) 学生が自主的に考え、学習することが可能な授業形態が導入されている(少人数教育・ゼミなど)	○			○
		(45) 視聴覚教育機器・教材の質と量は十分で、効果的に活用されている	○			○
6) 授業評価	(46) 効果的な教育方法について、検討の場をもっている(学内外)	○			○	
	(47) 備品は台帳記載がされ、定期的な点検や購入計画がされている	○			○	
4 組織 ・ 管理 運営	6) 授業評価	(48) 教育において日常的に教材研究を行っている	○			○
		(49) 実習科目の目標・内容に見合った実習施設を確保している	○			○
	7) 単位互換	(50) 実習施設は養成所の教育理念、教育目的、教育目標を理解している	○			○
		(51) 実習施設は学生の看護実践を支援する体制を整えている	○			○
		(52) 実習施設は実習目的を果たすために適切・妥当であるか定期的に見直ししている	○			○
		(53) 実習指導者は実習要項をもとに、実習指導案を立案・実施・評価している	○			○
		(54) 実習指導者と教員は、役割分担を明確にして指導している	○			○
		(55) 教員は授業終了時に、評価表による学生からの評価を実施している	○			○
		(56) 教員間での授業評価が行われている	○			○
		(57) 教員自身による自己評価を実施している	○			○
8) 成績評価・単位認定	(58) 評価結果に基づいて、実際に授業を改善している	○			○	
	(59) 評価結果活用システムが明確である	○			○	
4 組織 ・ 管理 運営	1) 学校の組織と関連組織の整備	(60) 大学・短大・専修学校への単位互換が可能な科目設定・時間設定である	○			○
		(61) 大学(短大)卒の入学生に単位の認定制をとっている	○			○
	2) 教員人事の適正配置	(62) 評価の方法は試験・出席・学習状況・レポートにより行われている	○			○
		(63) 単位認定のための評価基準と方法を公表している	○			○
		(64) 進級・進度の基準を示し適用している	○			○
		(65) 履修認定会議・進級判定会議は定期的開催している	○			○
		(66) 教員組織、事務組織は専任者が配置され、運営しやすい組織図ができて	○			○
		(67) 教員組織は運営に必要な人数と職種が配置されている	○			○
		(68) 教員は、看護教員養成課程を修了している。	○			○
		(69) 教職員の選考、資格審査、任免、昇格等について明確になっている。	○			○
3) 職員の職務分掌	(70) 事務組織は運営に必要な人数が配置されている	○			○	
	(71) 各職員が命令系統に沿ってその役割を果たしている	○			○	
4 組織 ・ 管理 運営	4) 会議への参加運営	(72) 教員の人事について副校長・教育主事は意見を具申している	○			○
		(73) 管理者は教員に将来像を構想として示している	○			○
	5) 学籍の管理	(74) 講師や実習指導者は明示した資格要件を元に選考している	○			○
		(75) 教員は看護学の専門領域毎に配置できている	○			○
		(76) 実習調整者は専任で配置されている	○			○
		(77) 教務助手は十分な臨床経験を有しているか	○			○
		(78) 職務分掌は作成している	○			○
		(79) 職務分掌に沿って学校職員は各々の役割を果たしている	○			○
		(80) 業務内容は効果的な職務遂行ができるよう適宜見直ししている	○			○
		(81) 構成員として幹部会議に出席し、必要時意見を述べている	○			○
6) 事業計画	(82) 構成員として管理会議に出席し、必要時意見を述べている	○			○	
	(83) 学校運営会議は定期的開催し機能している	○			○	
4 組織 ・ 管理 運営	7) 予算の執行	(84) 教員会議は月2回以上定期的に開催している	○			○
		(85) 講師会議は定期的に開催している	○			○
	8) 経営意識	(86) 学籍簿は学籍の記録、履修状況が正確に記載され、証明機能を備えている	○			○
		(87) 学籍簿は保管が適切になされ、秘密が守られている	○			○
		(88) 学校の事業計画を立てている	○			○
		(89) 事業計画は病院の全体計画の中に適切に位置づけられている	○			○
		(90) 中・長期目標の予算計画が立てられている	○			○
		(91) 年間の予算計画・執行状況を把握し、必要時修正している	○			○
		(92) 職員は歳入歳出の状況を把握している	○			○
		(93) 職員全員が経営意識をもっている	○			○
(94) 在学生は定員の90%以上を充たしている	○			○		
(95) 職員は歳出削減に向けて努力している	○			○		

5	1) 健康管理	(96) 定期的に健康診断を実施している	○	メンタルヘルスチェックを年に2回実施すると共に、「心理的バイタルサイン」を開始し、心身の健康管理を実施していくよう支援している。専任のカウンセラー1名配置し月2回カウンセリング開設している。学生の予約がない場合には、校内を巡回し、相談しやすい状況を作っている。学生宿舎では寮則により学生が寮自治会を組織し自主的に運営している。教員も協力して指導、支援をしている。自施設の当直者との連携の上、24時間教員と連絡が取れる態勢を設けている。学生宿舎の老朽化した箇所は、計画的に修理を実施している。他校との交流として2年生は、10月に国立病院総合医学会に参加し、その中で国立病院機構東海北陸グループ主催の学生フォーラムにて他の国立病院機構附属看護学校の学生と関わり、情報交換、コミュニケーションを図った。	○	○	○	○		
		(97) 学生が日常生活の健康管理ができるように指導している	○		○	○	○	○	○	
		(98) 臨地実習での感染防止の対策をとっている	○		○	○	○	○	○	
	2) 学生相談室、進路相談室の設置と対応	(99) 健康記録は的確に記載し、活用している	○		○	○	○	○	○	○
		(100) 学生相談の窓口を設けていることを学生に周知している	○		○	○	○	○	○	○
		(101) 学生相談の内容によって窓口(担当)を決めている	○		○	○	○	○	○	○
	3) 課外活動・ボランティアの支援体制	(102) プライバシーが保持されるシステムができています	○		○	○	○	○	○	○
		(103) 学生相談の専任のカウンセラーをおいている	○		○	○	○	○	○	○
		(104) 課外活動に対する、教職員の支援・指導を受けることができる体制である	○		○	○	○	○	○	○
	4) 自治会への支援	(105) ボランティア活動の支援体制ができています(情報提供、渉外、経費等)	○		○	○	○	○	○	○
		(106) 学生自治会室(含兼用)がある	○		○	○	○	○	○	○
		(107) 学生の自治活動が円滑にいくために助言・指導している	○		○	○	○	○	○	○
	5) 福利厚生(奨学金制度・学生宿舎・学生後援会等)	(108) 他校と交流の機会をもっている	○		○	○	○	○	○	○
(109) 奨学金制度について学生に周知している		○	○	○	○	○	○	○		
(110) 学生が学業を継続できる支援体制を多角的に整えている		○	○	○	○	○	○	○		
・授業料減免制度・奨学金・カウンセリング・既履修科目の認定		○	○	○	○	○	○	○		
・傷害保険・同窓会との連携		○	○	○	○	○	○	○		
・卒業、就職等の進路に関する相談、支援		○	○	○	○	○	○	○		
6	1) 校舎の整備と管理	(111) 学則の中で授業料減免制度について学生に説明している	○	校内の全ての施設利用については、授業および実習終了後も、学校の開校時間に合わせ学生が施設利用できる時間を確保している。災害マニュアルを作成している。体育館は地域住民の避難場所になっているため、毛布や布団などを第5倉庫に保管している。マニュアルの見直しは、火災訓練時に消防署の指導のもと修正するとともに、病院の災害訓練に参加した際に見直しを行っている。災害に備えた設備および備品点検は、年間で計画的に実施できるよう、点検マニュアル(非常口の点検や消火器の点検)を作成し、定期的な点検計画を検討している。図書に関しては、専門領域毎に計画的に増補できている。今年度の計画に合わせて増補できている。今後も、定期購読をしている購入雑誌の見直しや専門領域毎に古くなっている図書を確認し、必要な図書・DVDを更新している。図書購入の際は、学生にとって学習に効果的なものだけでなく、興味・関心を引くような内容の検討をしている。司書については、蔵書点検や貸し出しに対応する図書司書役を担う非常勤職員(司書の資格はない)を配置している。年に1回、購入計画の教材を計画的に購入している。今後も、年次ごとに計画的に教材が購入できるよう、授業担当教員や専門分野担当者による購入希望物品について確認をとり、整備を行っていく。日常の教材使用に関して、教科担当教員は各自で点検し、故障しないように学生に対し使用方法の説明を行っている。	○	○	○	○		
		(112) 学生宿舎を有し、管理責任者を置いている	○		○	○	○	○	○	
		(113) 学生宿舎の運営は、学生が自主的に行っている	○		○	○	○	○	○	
	2) 図書室の整備と管理	(114) 学生数に応じた施設基準を満たす設備がある(教室、看護学別の実習室、図書室、情報処理室、保健室、学生相談室、男女更衣室等)	○		○	○	○	○	○	○
		(115) グループ討議等ができる演習室を有している	○		○	○	○	○	○	○
		(116) 教室は視聴覚教材が使えるように整備されている	○		○	○	○	○	○	○
		(117) 校内施設利用規定は作成している(含む体育館)	○		○	○	○	○	○	○
		(118) 校内の施設利用は、学生の効果的な学習ができるよう配慮している	○		○	○	○	○	○	○
		(119) 学生ホールは整備され、憩いの場作りができています	○		○	○	○	○	○	○
	3) 教材の整備と管理	(120) 災害時を想定した設備点検・マニュアル作成がされている	○		○	○	○	○	○	○
		(121) 図書および資料は分野毎、領域毎に分類され整理されている	○		○	○	○	○	○	○
		(122) 蔵書数は学生数に見合った十分な冊数である	○		○	○	○	○	○	○
		(123) 専門分野は専門領域毎に計画的に増補している	○		○	○	○	○	○	○
(124) 学術雑誌は指定基準以上の種類を有している		○	○	○	○	○	○	○		
(125) 視聴覚機器が整備されている		○	○	○	○	○	○	○		
(126) 図書と学術雑誌およびビデオ等の整備点検はできています		○	○	○	○	○	○	○		
7	1) 学生募集の方法	(127) 司書を配置している	○	2020年度の入学試験の応募者数は、定員の3倍以上には満たず年々減少傾向にある。募集活動やオープンキャンパス等広報活動を行い、より選択される学校作りが必要である。人数は少なくとも、質の高い学生が確保できるよう高校との連携を強化し、特に推薦入試での学生確保に努めたい。合格者からの入学率は60.5%であった。学生確保のため推薦入試の入学学生を定員の40%程度とし、基準の見直しをした。2020年度の推薦入学では、基準に概ね該当している。	○	○	○	○		
		(128) 学生が利用しやすい時間帯に開館している	○		○	○	○	○		
		(129) 新刊図書の紹介をしている	○		○	○	○	○		
	2) 入学者選抜方法	(130) 必要な図書増補の予算計画ができています	○		○	○	○	○	○	
		(131) 文献検索のためのインターネットの設備がある	○		○	○	○	○	○	
		(132) 教材教員は定期的に点検を行っている	○		○	○	○	○	○	
		(133) 専門領域毎に教育内容にあった教材を計画的に増補している	○		○	○	○	○	○	
3) 学生定員の質的充足状況	(134) 器械器具、標本、模型は学生数に見合った十分な数を整備している	○	○	○	○	○	○			
	(135) ビデオ等、視聴覚教材は自己学習に使用できる	○	○	○	○	○	○			
	(136) 教材購入の経費は年次毎に計画し増補している	○	○	○	○	○	○			
	(137) 学校の教育理念・目標を反映した学生募集方針を定めている	○	○	○	○	○	○			
4) 学生募集に関する分析・評価体制	(138) 入学定員を明示している	○	○	○	○	○	○			
	(139) 推薦・社会人・一般入試制度の有無は明記している	○	○	○	○	○	○			
	(140) 学生の状況を察知した多様な選抜方法を検討している	○	○	○	○	○	○			
	(141) 合格基準は明確にしている	○	○	○	○	○	○			
8	1) 卒業生の進路	(142) 転入学の方法・基準を明文化している	○	実習経験録等の状況から卒業前看護技術演習を実施し、期待する卒業生像に到達できているのか確認している。自施設や国立病院機構病院、近隣の病院などで実習を行っている一部の病院から卒業生の就業後の状況情報は得られ把握している。国家試験の2019年度、当校合格率98.6%で、全国新卒者合格率94.7%を上回っている。これまでの不合格者の分析をもとに計画的に1年次より国家試験対策を実施している。卒業生は、1名が助産科への進学を含め全員が看護職を選択した。	○	○	○	○		
		(143) 入学試験の応募状況は定員の3倍以上である	○		○	○	○	○		
		(144) 合格者からの入学率は50%以上である	○		○	○	○	○		
	2) 資格取得(国家試験)合格状況	(145) 推薦入試の入学学生は定員の40%以内である	○		○	○	○	○	○	
		(146) 入学試験委員会が定期的に開催されている	○		○	○	○	○	○	
		(147) 志願者・合格者・入学者などの推移とその評価がなされている	○		○	○	○	○	○	
9	1) 地域との連携と社会への啓蒙	(148) 卒業生の90%以上は看護職を選んでいる	○	高校生等を対象に、高校および地域の会場にて看護教育に関する進路相談会へ参加して、相談を行っている。高校からの学校訪問に関しては、看護技術を講義・演習の形をとり、実際の学習状況が伝わり、体験者が興味をもてるように行っている。また年3回、地域の方を対象に公開講座を行い、看護の知識や技術を体験できる場を設けている。学校祭では血圧測定、BMI測定など市民が参加できる内容も設けた。ボランティア情報を学生に提示し、院内・他施設・難病患者患者会・地域へのボランティア活動に参加している。近隣施設との連携として町からの依頼により、当校の体育館は地域住民の災害避難場所に指定されている。	○	○	○	○		
		(149) 卒業時点での進路状況が、分類整理されている	○		○	○	○	○		
		(150) 統計資料が経年的に整理され、活用されている	○		○	○	○	○		
	2) 近隣関連施設との連携	(151) 卒業生の就職先との情報交換や調査の実施等ができる体制を整えている	○		○	○	○	○	○	
		(152) 卒業、就業にあたっての進路相談・指導体制が整っている	○		○	○	○	○	○	
		(153) 卒業状況は入学時状況と比較している(学生数の変動等)	○		○	○	○	○	○	
3) 国際的視野	(154) 卒業時の学生の看護実践能力を把握している	○	○	○	○	○	○			
	(155) 期待する卒業生像と、就職先での評価は妥当である	○	○	○	○	○	○			
	(156) 国家試験合格状況は、全国の平均合格率を上回っている	○	○	○	○	○	○			
10	1) 研究・研修活動の財政面の整備	(157) 不合格者の背景、特性を分類し、教育活動に活かしている	○	研究計画書を立案し助成金を申請している。教員は研究助成金を活用し研究計画書に基づき、自己の研究のための学会参加や研修参加および教材の購入等を行っている。また、研究助成金を使用し、主体的に計画し学会や研修に参加できている。各教員は国立病院総合医学会、国立病院看護研究学会など所属しており、設置主体関連の学会への参加や投稿は定例となった。今年度は、全教員が国立総合医学会への発表に参画した。臨床との研究活動での交流は図れておらず、同じ研究テーマでの取り組みはできていない。教員は、実習指導者講習会の講師等の役割を果たしている。	○	○	○	○		
		(167) 研究費は研究計画を立案し、助成金の申請をしている	○		○	○	○	○		
		(168) 研究に必要な設備・機器を計画的に整備している	○		○	○	○	○		
	2) 教員の研究活動	(169) 研究・研修への年間予算計画が設定されている	○		○	○	○	○	○	
		(170) 教員の研究活動を保障(時間的・財政的・環境的)している	○		○	○	○	○	○	
		(171) 教員の研究活動を助言・検討する体制を整えている	○		○	○	○	○	○	
	3) 研究成果の発表	(172) 研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地がある	○		○	○	○	○	○	
		(173) 教員は専門領域の研究活動に取り組んでいる	○		○	○	○	○	○	
		(174) 教員の半数以上は年1回以上の研究発表を行っている	○		○	○	○	○	○	
		(175) 教員は看護・教育関係の学会に所属している	○		○	○	○	○	○	
4) 研修活動への積極的参加と教員の活動	(176) 教員は臨床ナースと連携や交流を図り臨床看護研究に取り組んでいる	○	○	○	○	○	○			
	(177) 教員の半数以上は研究発表を過去2年以内に公表している(学会・投稿)	○	○	○	○	○	○			
	(178) 学校は研究成果を年報、紀要や論文集などで発刊している	○	○	○	○	○	○			
	(179) 教員は計画的・自主的に研修に参加している	○	○	○	○	○	○			
11	1) 自己点検・評価体制	(180) 教員は、専門領域の臨地実習、研修を実施している	○	ワーキングメンバーが全教員と協力して中間および年度末に評価を行った。昨年度の評価をHPにて結果を公表した。また、概況書には掲載している。自己点検・自己評価結果をもとに、重点項目を中心に取り組むようにしている。日頃の業務、教育活動において認識を持ち続け反映した活動ができるような取り組みを検討する必要がある。	○	○	○	○		
		(181) 教員が研修に参加できるようにシステム作りをしている	○		○	○	○	○		
		(182) 教員は対外的に講師としての役割を果たし、活動している	○		○	○	○	○		
		(183) 自己点検・評価のシステムが作られている	○		○	○	○	○		
		(184) 自己点検・評価に必要な基礎データ等の整備がなされている	○		○	○	○	○		
		(185) 自己点検・評価を定期的に行っている	○		○	○	○	○		

全体	<p>1 組織運営等の状況 組織的な運営・責任体制が整備されている。教員会議等が学校運営において有効に機能している。服務管理が適切に行われている。自己評価の結果や講師会の意見が学校運営の改善に活用されている。</p> <p>2 授業等の状況 学校の教育目標を踏まえて教育課程が編成・実施され、その考え方について教員間で共有されている。授業研究を教員が行うことや授業研究を継続的に実施することを通じて授業改善に全校的に取り組んでいる。</p> <p>3 指導、管理の状況 学生の健康管理が適切に実施され、メンタルヘルスケアも実施されている。防災体制も構築されている。</p> <p>4 地域との連携協力の状況 ホームページ等により、広く地域住民に学校に関する情報を周知し、提供するための取組を行っている。学校開放等を適切に実施している。</p>
I. 教育理念・目的・目標	<p>学校の理念・目的・人材育成は具体的に定められている。 国立病院機構や社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いている。 教育理念・目的・目標は、学生便覧や教育課程、実習要綱等に明示し、学生に周知されている。</p>
II. 教育課程	<p>目的に沿った運営方針が策定されており、運営方針に沿った教育課程が作成されている。 カリキュラム検討グループを編成し、教員課程の見直しを毎年実施している。 カリキュラムを学生の授業評価や講師、教員の意見を参考に見直しを行っている。 看護研究のケーススタディの実際に取り組むなど、学生の現状にあった教育を実施している。</p>
III. 教育活動、教育指導の在り方	<p>教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針等が作成されている。 カリキュラムは系統的に編成されている。 実習期間に準備期間を確保できるよう配慮したり、演習サポート教員を配置したり1人の教員に負担がかからず、効果的な指導ができるよう工夫している。 授業評価も計画的に実施し、教員の能力の向上が図られている。</p>
IV. 組織管理 運営	<p>将来構想を共有し、学校全体でとりくむ体制を構築している。 幹部会議等に参加する機会があり、管理運営に意見を述べる場も確保されている。 「在学生は定員の90%以上を満たしている」を評価項目に挙げているが、少子化や他の養成校との競争を考えると評価項目として適切か検討する必要があるのではないか。</p>
V. 学生生活の支援	<p>学生の健康管理や寮生活への支援。専任カウンセラーの配置など、幅広い学生の支援を行っている。 各学年、学科、実習、寮などの役割担当を明示し、相談体制を構築している。</p>
VI. 施設整備	<p>施設基準を満たしている。教材を計画的に購入、点検、整備されている。 図書も要望を取り入れ、補充し、充実している。図書館司書は、有資格者が望ましい。</p>
VII. 学生の受入	<p>18歳人口の減少、少子化の影響があり、受検者数は減少傾向にある。 推薦指定校や社会人入試、二次試験の実施など学生の確保に工夫している。推薦入試の定員を40%に引き上げ、質の高い学生の確保につとめている。 国家試験合格率は98.6%(平成30年度)であり、確実に地域に看護師を送り出している。</p>
VIII. 卒業生の状況	<p>卒業時の到達目標を設定し、質の高い有資格者を地域に送り出している。 全学生が看護職、看護系の進学を希望している。</p>
IX. 社会への貢献	<p>公開講座を年3回実施し、地域に開かれた学校として、近隣住民への働きかけを行っている。 1年生へはボランティア活動を推奨し、近隣施設へのボランティア活動に積極的に参加している。 清水町の避難場所として体育館を提供し地域とのつながりをもっている。</p>
X. 研究研修活動	<p>一人当たり25万円の研究費が毎年確保され、各教員の自主性に任せた年間計画により実施できる点も独自の制度であり、すばらしい。</p>
XI. 学校評価	<p>自己評価については、ワーキンググループを組織して中間と年度末に実施している。 学校関係者評価については、年度末に実施している講師会の中で自己評価結果を提示し、学校運営のあり方について協議する場をもち、学校関係者評価としている。 学校評価委員会として記録を残し、①自己評価②学校関係者評価③第三者評価とし学校評価としてまとめてほしい。</p>